

一月二五日

六時四五分起床。外尾悦郎は言っている。信仰というのは神と自分の関係だと思っていたが、それは突きつめると愛情なんだ、例えば石に対する愛情だ。そうすると自分がどんどん小さくなって、あらゆる事に感謝できるようになって、それが、ありがたいと。あいつの言う事だから信じられる。そうなんだろう、とは思うのだが……。自分を小さくしてゆく事だけは考えなくてはならないな。ネラン神父や鈴木博之氏の事を想う。まわりの人が皆大きく視えてくる。ワイマールのニーチエ・ハウスに泊まっていた時、深夜聴いたかに思うピアノの音を思い出したりもする。幻聴かどうか、定かかどうか、それさえもあやふやだが何処からか聴こえた。ニーチエのツアラトウストラはニーチエの狂気だけを育てたのか。

八時二〇分府中。西山氏と国分寺へ、途中で塗装屋さん合流。九時前〇邸。十時四五分研究室。

東北の結城登美雄さんへプレゼントする計画案の第一歩を作図して送る。CEMA計画の打合わせ。フィンランド計画の打合わせと続く。昼食は又もサンドイッチ。アベル、ヘルベルト共に能力はあるのだが、仕事の進め方は解っていないのでいささか苦労が多い。しかし怒るわけにはいかない。十五時安藤と住宅ミーティング。大沢温泉ホテルの計画案を四名に描かせて、すぐに送る。依頼者の持つリアリティーにスタッフが対応するスピードが問題。マア、これも自分の経験を即応させなければ。二〇時十五分修了。